

2021年9月7日

ハワイ州観光局

【ニュースリリース】

ハワイ州観光局、マラマハワイをテーマにした4本のメッセージ動画を公開
～ マラマハワイSNSキャンペーンを4週連続で開催 ～



ハワイ州観光局（所在地：東京都千代田区 日本支局長：ミツエ・ヴァーレイ）は、ハワイを訪れる旅行者がハワイ特有の自然や文化に触れ、思いやりをもった多様で豊かな旅行体験を実現するために、マラマハワイをテーマにした4本のメッセージ動画「マラマハワイ～美しい自然を次世代へ～」（日本語字幕付き）を2021年9月7日（火）に公開しました。このメッセージ動画は、ハワイ州レスポンシブルツーリズム特設サイト「Mālama Hawai'i（マラマハワイ）」で視聴することができます。

URL: <https://www.allhawaii.jp/malamahawaii/movies/>

マラマとはハワイ語で「思いやりの心」を意味し、ハワイ州観光局は、「マラマハワイ～地球にやさしい旅を～」をスローガンに、ハワイの文化や自然を守り、住民の生活と旅行者の体験をより多様で豊かなものにするレスポンシブル・ツーリズムの実践を目指しています。

メッセージ動画は、ハワイ州観光戦略2020-2025年の基本主軸である (1)自然資源、(2)伝統文化、(3)地域社会、(4)ブランドマーケティングの4本柱に沿って製作され、ハワイの自然資源の復元や文化継承に携わる人々の取り組みを分かりやすく動画で紹介しています。

メッセージ動画の公開に合わせて、9月7日（火）から10月4日（月）までの期間、公式 Instagram、Twitter、Facebook にて、4週連続で SNS キャンペーンを実施します。抽選で毎週 15 名様（合計 60 名様）に、環境に配慮した素材で作られたハワイ州観光局と BEAMS がコラボしたエコバックをプレゼントします。 <https://www.allhawaii.jp/htjnews/4854/>

エピソード1：

マラマハワイ～古代から継承されたハワイアの知恵を次世代へ

ノエラニ・リーは、かつてハワイ諸島に豊富な魚介類を供給していたモロカイ島の環境を回復するために、祖先が持続可能な食料供給を目指し開発した養魚池を復元させ、環境に負荷をかけない漁業技法や土地を守り愛することの大切さを次世代へ継承しています。

動画リンク：<https://youtu.be/KRALHPHaHCY>



エピソード2：

マラマハワイ～ハワイ特有の生態系を守ること～

大地を守るということは、サンゴ、魚、鳥、大地に吹く風を慈しみ守ることです。キアイ・コリアーは、ハワイ特有の生態系を守り、ハワイ固有植物を守り増やすために植樹を行い、固有動物の生息地環境を復元管理しています。

動画リンク：<https://youtu.be/f61y7AST8EI>



エピソード3：

マラマハワイ～ハワイ固有種の森林を再生するために～

動物学とハワイの文化的価値観を研究しているサム・オウゴン3世は、ハワイにしか存在しない固有種のエコシステムを再生し、外来種に脅かされている原生林を再生する活動を続けています。生態系を復元することは文化を復興すること、森を守ることは地域社会を再建することに繋がります。ハワイアンは生きるものすべてが先祖やハワイの神々が形になったものと考えています。

動画リンク：<https://youtu.be/tX1bkt9yBYQ>



エピソード4：

マラマハワイ～ハワイの持続可能な農業を目指して～

ハワイアンは500年前、自然環境に影響を与えることなく現在と同等の人口を養える量の農産物を生産していました。リック・バルボッサは、失われたハワイの環境を回復させるために、住民や旅行者と共に固有種を育て、生態系の改善と文化継承に取り組んでいます。

動画リンク：https://youtu.be/KTY_EAaAM9I



メッセージ動画は4種類の短編版（30秒）と長編版（2～3分）を用意しました。長編版は特設サイト「Mālama Hawai'i」のほか、ハワイ州観光局公式ポータルサイトallhawaii、公式ラーニングサイト「アロハプログラム」、公式YouTubeでも公開しています。

ハワイには絶滅危惧種に指定されたアオウミガメ、ハワイモンクアザラシ、ザトウクジラ、ハシナガイルカ、ハワイガン（ネネ）などの貴重な野生動物が多数生息しています。また、「固有種」の動植物は2944種あるとされていますが、気候変動や外来種の影響を受けて絶滅が危惧されているものも多くあります。近年は、マイクロプラスチックを含む海洋ゴミ、サンゴの白化現象、山火事など豊かな自然を脅かす様々な問題に直面しています。

ハワイの人々が大切に守り続けている自然や文化を敬い、地元のルールを守り、次世代へ美しいハワイを継承する責任ある行動は、地元住民だけではなく旅行者にも知っていただくことが大切です。ハワイ州観光局は、持続可能な観光を実現するために、サンゴにダメージを与えない日焼け止めの使用や、廃棄物削減のためにマイバックやマイボトルの携帯を推奨し、野生動物との接し方や条例、ハイキングや自転車走行マナーなど、旅行者の協力が必要な行動について引き続き情報を発信して参ります。

###

ハワイ州観光局日本支局（Hawai'i Tourism Japan）

ハワイ州観光局日本支局は、ハワイ州の観光振興機関「ハワイ・ツーリズム・オーソリティ」から委託を請け、ホノルルと東京にオフィスを設置し、ハワイ州最大の国際マーケットである日本市場を対象に、ハワイのブランド価値を高めるためのマーケティング戦略を立案、デスティネーション・キャンペーン、広報コミュニケーション、市場分析、パートナーシップ開発、教育プログラム構築など、日本の消費者、メディア業界、旅行業界、MICE市場など広範囲にわたって信頼と共感を呼ぶ活動を一貫して実施しています。また、持続可能な観光を目指すために「マラマハワイ＝思いやる心」の概念を啓蒙し、ハワイの自然保全と文化継承に繋がるプログラムの開発を促進して旅行体験の多様化を目指します。ハワイ州の産学官民と協力してハワイの地域社会と日本人旅行者を繋ぐ架け橋となり、日本とハワイの交流を深める活動も支援しています。公式ポータルサイト：<https://www.allhawaii.jp>

本件に関する一般からの問い合わせ先

インフォメーション info@htjapan.jp

本件に関する報道関係者からの問い合わせ先

ハワイ州観光局 広報チーム prhtj@htjapan.jp